

第84期

期 末 報 告 書

(平成28年4月1日から)
(平成29年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成29年 6 月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第84期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
貸借対照表	5
損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーお届出のご案内	

事業の概況

当事業年度のわが国経済は、政府・日銀による政策の効果により景気の回復基調が続いているものの、海外経済の景気減速、英国のEU離脱問題、米国の政権交代等の影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社では、引き続き感動の創造に努め、サービスの一層の充実を推進してまいりました。

この結果、売上高は40億41百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は1億71百万円（前年同期比56.1%増）、経常利益は1億73百万円（前年同期比55.1%増）、当期純損失は49百万円となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、平成28年の全国入場人員は前年比8.1%増の1億80百万人、興行収入は、8.5%増の2,355億8百万円となりました。夏以降の興行が好調に推移し、またアニメ作品の躍進が目立つなど、入場人員、興行収入とも平成22年に記録した年間記録を更新いたしました。

特に8月公開の「君の名は。」につきましては、幅広い年齢層に支持され、ロングラン興行を記録するなど大好評を得ました。

このような状況のなか当事業では、平成28年7月15日には名古屋駅前のシンフォニー豊田ビルに「ミッドランドスクエア シネマ2」（7スクリーン）を開業し、既存の「ミッドランドスクエア シネマ」の7スクリーンと合わせて名古屋市内最大の14スクリーン体制となり、映像・音響・客席等のすべてがプレミアムな映画館をご提供させていただきました。さらに、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、ファンだけが知る特別なアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」という2つのレーベルを立ち上げ、他に「シネマ歌舞伎」、ライブビューイング、人気アイドルによるライブイベント等、様々なジャンルのエンターテイメント作品も提供し、お客様の期待に応える多彩な作品をお届けしてまいりました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、皆様にご愛顧いただき、興行収入が平成20年10月の開館以来、初めて年間で10億円を超えることができました。

当事業年度は、洋画112作品、邦画126作品、アニメ62作品、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)153作品の合わせて、453作品(前期末比124作品増)を上映いたしました。

主な上映作品としましては、洋画では、7月公開の「アリス・イン・ワンダーランド/時間の旅」、11月公開の「ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅」、12月公開の「ログワン/スター・ウォーズ・ストーリー」、2月公開の「ラ・ラ・ランド」、邦画では、6月公開の「植物図鑑 運命の恋、ひろいました」、7月公開の「シン・ゴジラ」、10月公開の「デスノート light up the NEW world」、アニメでは、4月公開の「ズートピア」、7月公開の「ファインディング・ドリー」、3月公開の「SING/シング」、ODSでは、6月公開のシネマ歌舞伎「歌舞伎NEXT 阿弋流為」、3月公開の「WE ARE X」などの番組を編成いたしました。

平成28年9月16日には名古屋駅前シンフォニー豊田ビルに、映画館に持ち込んでいただいたり、上映後にご利用いただける店舗として、「LA BOBINE ガレットカフェ」がオープンいたしました。名古屋初、ラップドガレット&クレープの専門店として、食と空間を楽しむためのカジュアルでありながら上質な店舗をご提供させていただきました。

この結果、当事業では、売上高は30億84百万円、営業利益は1億70百万円となりました。

なお、名古屋駅前センチュリー豊田ビルの「ピカデリー」は、シネマ事業の効率化を図るため、平成28年6月30日をもって閉館いたしました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、商品のクオリティ向上を図るとともに、素材を生かしたメニューの開発を実施し、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

温浴部門の名古屋市中川区「太平温泉 天風の湯」、および愛知県江南市「松竹温泉 天風の湯」は、積極的な店舗イベントの実施やサービスの提供で、売上向上に努めてまいりました。

しかしながら、当部門では、客単価の低下や近隣の大型施設進出の影響を大きく受け、依然として厳しい状況でありました。

この結果、当事業では、売上高は6億29百万円、営業損失は34百万円となりました。

なお、「松竹温泉 天風の湯」は、経営資源の選択と集中を強化し、今後一層名古屋駅前を核とした事業展開をするため、平成29年1月1日をもって事業譲渡いたしました。

また、「太平温泉 天風の湯」につきましても、本年12月に閉店するお知らせをさせていただきます。

【アド事業】

当事業は、大きく拡がりを見せる名古屋駅前の営業強化を図るとともに、得意分野の映画宣伝関連やコインパーキング等のサイン工事を中心とした積極的な営業展開により売上向上に努め、安定的な収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は3億28百万円、営業利益は35百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、緩やかに景気が回復していくことが期待される一方、海外経済等の見通しに不確実性を残し、引き続き先行き不透明な状況が依然として続くものと思われま

す。このような状況のもと当社では、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、なおかつスピード感をもって、お客様の感動の創造に努めてまいります。

シネマ事業では、名古屋駅前という立地条件を活かし、かつスクリーン数のメリットを活かした番組編成に注力してまいります。

また、新規顧客の開拓をすべく、シネマ会員の拡大にも努めてまいります。

主な上映作品としましては、洋画では、4月公開の「美女と野獣」、7月公開の「パイレーツ・オブ・カリビアン 最後の海賊」、12月公開の「スター・ウォーズ/最後のジェダイ」、邦画では、7月公開の「君の膵臓をたべたい」、12月公開の「鋼の錬金術師」、2月公開の「曇天に笑う」、アニメでは、7月公開の「メアリと魔女の花」、「怪盗グルーのミニオン大脱走」、11月公開の「GODZILLA-怪獣惑星-」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」や「METライブビューイング」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。さらに、特に素晴らしい旧作の娯楽作品を1年間に渡り連続上映する「午前十時の映画祭8」を従来の「ミッドランドシネマ 名古屋空港」に加え、「ミッドランドスクエア シネマ」において上映を開始し、「アートレーベル」、「アニメレーベル」においても、より充実させてまいります。

リラクゼーション事業では、地域密着型の運営を継続し、独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。

また、「太平温泉 天風の湯」は、本年12月に閉店いたしますが、その閉店の日までサービスの充実を心掛け、営業してまいります。

アド事業では、積極的な営業展開を図り、得意分野の映画宣伝関連やサイン工事をさらに伸ばし、売上げの安定化と上積みを目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしま

る所存であります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,837,511	流 動 負 債	758,931
現金及び預金	883,906	買掛金	361,857
売掛金	211,707	1年内返済予定の長期借入金	99,960
有価証券	600,000	リース債務	88,199
商品	9,089	未払法人税等	78,530
前払費用	30,581	未払消費税等	5,344
預け金	81,506	未払費用	57,053
繰延税金資産	13,459	賞与引当金	16,000
その他	8,965	その他	51,985
貸倒引当金	△1,705		
固 定 資 産	3,250,877	固 定 負 債	626,781
有 形 固 定 資 産	(2,101,866)	長期借入金	33,400
建物	1,182,897	リース債務	218,798
構築物	4,306	退職給付引当金	60,587
機械装置	181,305	長期未払金	39,500
車両運搬具	83	資産除去債務	91,411
器具備品	98,378	受入保証金	183,084
土地	634,896		
無 形 固 定 資 産	(93,860)	負 債 合 計	1,385,713
電話加入権	1,147		
ソフトウェア	92,302	純 資 産 の 部	
その他	410	株 主 資 本	3,520,382
投資その他の資産	(1,055,149)	資本剰余金	(270,000)
投資有価証券	348,920	資本剰余金	(13)
関係会社株式	10,000	資本準備金	13
差入保証金	632,866	利益剰余金	(3,318,231)
長期前払費用	6,861	利益準備金	67,500
繰延税金資産	56,502	その他利益剰余金	3,250,731
		配当準備積立金	314,116
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	556,615
		自己株式	(△67,863)
		評価・換算差額等	182,293
		その他有価証券評価差額金	(182,293)
		純 資 産 合 計	3,702,675
資 産 合 計	5,088,389	負 債 純 資 産 合 計	5,088,389

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		4,041,934
売 上 原 価		2,038,562
売 上 総 利 益		2,003,372
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,832,301
営 業 利 益		171,071
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,054	
協 賛 金 収 入	33,637	
雑 収 入	2,745	41,437
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	803	
開 業 費 償 却	35,813	
雑 損 失	2,143	38,761
経 常 利 益		173,747
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	203,195	
事 業 譲 渡 益	12,838	
資 産 除 去 債 務 戻 入 益	9,568	225,602
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	843	
固 定 資 産 除 却 損	45,906	
固 定 資 産 処 分 損	65,584	
減 損 損 失	368,905	481,239
税 引 前 当 期 純 損 失		81,889
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	88,143	
法 人 税 等 調 整 額	△120,864	△32,720
当 期 純 損 失		49,168

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (平成29年3月31日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 55名

■ 主要な事業所 (平成29年3月31日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji. Co. 名古屋市千種区
LA BOBINE ガレットカフェ 名古屋市中村区

<温浴施設>

太平温泉 天風の湯 名古屋市中川区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区

- (注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(東京都中央区)との共同事業体が運営しております。
3. 「太平温泉 天風の湯」は、平成29年12月10日をもって閉店いたします。

■ 役員（平成29年6月28日現在）

代表取締役社長 服部 徹 経営企画部担当

常務取締役 原田 克己 感動創造本部本部長
企画営業部担当

取締役 貴田 吉晴 感動創造支援本部本部長
総務部部长 経営企画部上席部長
食文化創造室担当

取締役 小塚 康 感動創造本部副本部長
興行部上席部長

取締役 山口 千秋（社外取締役）

取締役 大谷 信義（社外取締役）

常勤監査役 佐藤 桂一

監査役 岡本 安史（社外監査役）

監査役 野田 敦之（社外監査役）

執行役員 細川 秀樹 感動創造支援本部副本部長
経理部部长 経営企画部部长
太平洋温泉 天風の湯担当

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報がご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ 株式の状況（平成29年3月31日現在）

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	531,025株（自己株式8,975株を除く）
株主数	2,829名（前期末比15名増）

■ 大株主（平成29年3月31日現在）

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	30,000株	5.64%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	7,000株	1.31%
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
服 部 清 純	4,500株	0.84%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.80%
服 部 信 光	3,400株	0.64%

（注）持株比率は自己株式(8,975株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況（平成29年3月31日現在）

所 有 者	株 式 数	比 率
金 融 機 関	5,500株	1.02%
金 融 商 品 取 引 業 者	80株	0.01%
そ の 他 の 法 人	102,200株	18.93%
外 国 法 人 等	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	423,245株	78.38%
自 己 名 義 株 式	8,975株	1.66%
計	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様は、8月、9月、10月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および11月、12月、翌年1月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知と同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様は、2月、3月、4月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および5月、6月、7月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書と同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

- 「株主ご優待券」を下記映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できません。（1枚で1名様有効）

映画館		住 所	電話番号
ミッドランドスクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911

※プレミアムシートのご利用、3D映画のご鑑賞等の場合には、ご利用にあたり別途料金のご負担が必要となります。詳細は、各劇場にお問い合わせください。

- 「株主ご優待券」を下記スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

スーパー銭湯	住 所	電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市 中川区 平戸町2-1-10	(052) 355-4126

※「太平温泉 天風の湯」は、平成29年12月10日をもって閉店いたします。

※同年11月以降に交換されました「全日ご招待券」の有効期限は、閉店の日までとなります。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 掲 載 新 聞	中部経済新聞
上 場 取 引 所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード: 9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーお届出のご案内

平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。

株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

マイナンバーを 記載する主な支払調書	配当金等に関する支払調書 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
-----------------------	--